



《赤い屋根の家》制作年不詳

異才の表現

中村直人

Naondo

上田市立美術館 コレクション展

2020. 3/14(土) - 6/7(日)

開館時間 | 9:00 ~ 17:00 (最終入場 16:30)

休館日 | 火曜日 (祝日の場合は翌日)

5月5日(火)・6日(水)は開館、5月7日(木)は休館

観覧料 | 一般 300(250)円 / 高校・大学生 200(150)円
小・中学生 100(80)円

※()内は20名以上の団体 ※障害者手帳携帯者とその介助者1名は無料

会場 | サントミュージゼ 上田市立美術館 2階展示室

主催 | 上田市 (上田市立美術館) / 上田市教育委員会

サントミュージゼ 上田市立美術館

〒386-0025 長野県上田市天神三丁目15番15号
TEL 0268-27-2300 <https://www.santomyuze.com/>

中村直人

Naondo

— 異才の表現 —

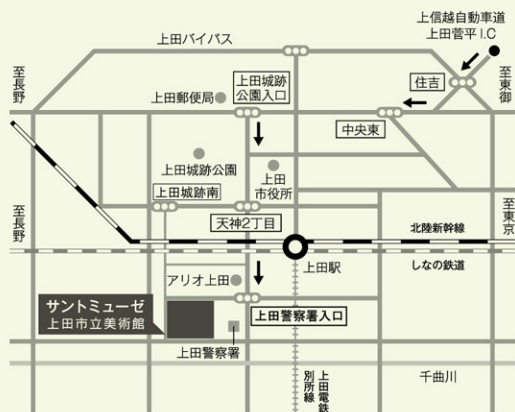
中村直人は、1905(明治38)年、長野県小県郡神川村(現・上田市神川)に生まれた芸術家です。戦時期の日本で着実に彫刻家としての地位を築きながら、パリで一転、画家として名を馳せることとなりました。

「転身した芸術家」と呼ばれた人物ですが、代名詞ともなった揉み紙のグアッシュ作品は、日本で活躍した時期からの直人の尽きない立体への興味を示し続けています。

今回のコレクション展は、農民美術の講師であった初期の木彫から、通信員としての従軍経験を元に制作された彫刻、パリ時代の平面作品まで、同じ作家によるものとは思えないほど変転する中村直人の作品群をご紹介します。

※ 不透明水彩。また、この絵の具を使った画法を指す。

ACCESS 交通案内



上信越自動車道「上田菅平I.C.」よりお車で約15分
北陸新幹線・しなの鉄道・上田電鉄別所線「上田駅」より徒歩約7分

サントミューゼ 上田市立美術館
SANTOMYUZE UTSUNOMIYA CITY MUSEUM

〒386-0025 長野県上田市天神三丁目15番15号

TEL 0268-27-2300

<https://www.santomyuze.com/>



《(仮題) 笛を吹く女》1952～1964年



《曉の進軍》1938年



《クラウン》1960年



《町娘》制作年不詳

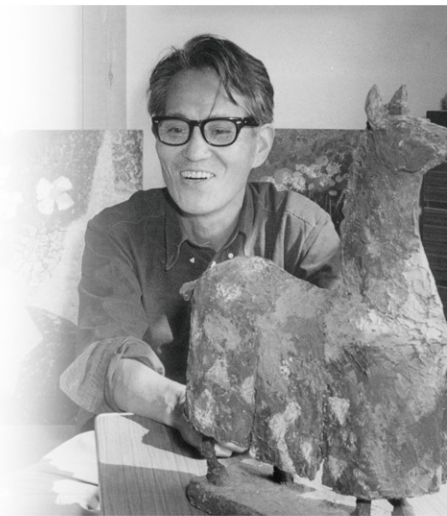
中村直人 1905-1981

NAONDO NAKAMURA

長野県小県郡神川村(現・上田市神川)に生まれる。1920(大正9)年に上京し、山本鼎の紹介により、再興日本美術院の彫刻部同人・吉田白嶺が主催する木心舎に入門。1936(昭和11)年には再興日本美術院の彫刻部同人に推挙される。

戦後は、親交のあった藤田嗣治(のちのレオナール・フジタ)の勧めを受け、1952(昭和27)年に家族をあげてパリへ移住。ここから彫刻ではなく絵画の制作に精力を注ぐようになり、その作品は現地の有力紙から絶賛を受けることとなった。

1964(昭和39)年には帰国、滞仏絵画展を開催。美術団体・二科会に入会し、日本画壇への復帰を果たした。



関連企画

ギャラリートーク

学芸員が作品解説や直人の人柄などをお話します。

日時 | 4月11日(土)、5月24日(日) 13:30～

参加方法 | 観覧券をお求めの上、ご参加ください。(申込不要)

アクリル絵の具で直人体験!

展示室の作品を鑑賞した後、シワシワのキャンパス地に筆やステンシルでどんだん色を重ねて絵を描きます。直人の描いたモチーフなどを使って、自分だけの表現をしよう!

日時 | 4月12日(日) 10:00～12:30

対象 | 小学校3年生以上(3年生は要保護者付き添い・大人だけでも参加可)

参加費 | 500円

会場 | 上田市立美術館 子どもアトリエ

当日の持ち物 | 筆記用具、汚れてもよい服装(エプロンなど)

参加方法 | 3月21日(土)から、電話で美術館までお申込みください(先着20人)。